

# 2026年度事業計画

(自2026年4月1日 至2027年3月31日)



一般社団法人

日本自動車連盟

## I 環境の変化とその対応について

近年、持続可能な社会を目指す価値観が広く認識され、それに基づく取り組みが進行しています。しかし、地域社会では少子高齢化による人口減少、移動手段の不足、交通安全に関する課題などが依然として存在しています。

一方、自動車やモビリティの分野では技術の高度化や多様化が進行しており、自動運転技術や電動化、シェアリングといった技術はこれらの課題に対して新たな解決策となる可能性を秘めています。

このような状況下でこれらの技術がさらに発展し、基本理念や2035年をターゲットとした長期的な事業方針をもとに、事業計画を毎年更新し、運用しています。

JAFには多様なニーズに応えるための柔軟な対応が期待されています。私たちはモビリティの持つ力を信じ、引き出し、地域社会との対話を通じた課題の発見と解決に向けた挑戦を続け、人々のより豊かな日常の実現に貢献します。

## II 基本理念

JAFは、安全と安心の支えとなるサービスを提供し、移動価値が高い社会の実現を目指します。

JAFが社会に果たすべき役割すなわち存在意義を整理し、2025年4月に「基本理念」として再構築しました。

JAFの歴史や不変の価値観を「安全と安心の支えとなる」という言葉で示すとともに、自動車が人々の移動の可能性を広げ生活を豊かなものに変えてきた歴史を踏まえ、移動が人々に新たな価値をもたらす様子を「移動価値が高い」と表現しました。

### Ⅲ 2035ビジョン（2025年度～2035年度）

多様化した移動手段が社会に浸透する中で、私たちはモビリティの持つ力を最大限に引き出し人々の「より豊かな日常」を支えます。

基本理念を策定した2025年度から10年後の未来には、自動車技術がさらに進化し、移動手段が多様化して社会に広がることが想像されます。そのような状況下でのJAFの役割を、「2035ビジョン」として決めました。

私たちは蓄積した技術・知見・信頼・社会とのつながりを活かして地域社会課題の発見と解決に挑戦します。人々が移動しやすい社会の実現を通じ、人が楽しみ、感動し、日々の不安が解消されている「より豊かな日常」を支えます。

#### 重点課題

「2035ビジョン」に立脚し、現時点から取り組むべき重点課題について以下の通り決めました。なお、重点課題については社会環境の変化に合わせて柔軟に変更※します。

※ 本年度、変更はありません。

#### （1）モビリティの持つ力を最大限に引き出す

自動車の安全と安心を守る存在として蓄積した技術およびリソースを活かし、自動車をはじめとしたモビリティが地域社会課題の解決に最大限貢献できるように活動します。

#### （2）会員・社会に支持され続けるJAFを目指す

対話を通じて人々が暮らしの中で抱える課題を探索し、自分たちの強みやつながりを活かして解決にむけて挑み、よりよい地域社会の実現に貢献します。

#### （3）人的資本を活かす組織づくり

JAFの強みが現場で課題解決に挑戦する職員にあることを意識し、人的資本を最大限に活かすことができるよう組織づくりに取り組みます。

## IV 2026年度事業計画

### 1 モビリティの持つ力を最大限に引き出す

#### (1) ロードサービス品質の向上および体験価値向上

- ・ 全国ネットワークでのサービス品質向上への取組
- ・ トラブル解決スピード向上への取組
- ・ 救援要請受付手段の多様化

#### (2) 交通の安全・安心と社会への貢献

- ・ 社会情勢に応じた交通安全・社会貢献の展開
- ・ 産官学との連携による交通安全啓発の共創
- ・ 在日・訪日外国人ドライバーの各種ニーズへの対応
- ・ モータースポーツ競技の安全・公平・公正の維持向上

#### (3) 装備や教育の充実と変化への備え

- ・ モビリティにかかわる新技術への対応
- ・ ロードサービス未経験者向け教育プログラムの充実
- ・ 自然災害時の救援体制整備

### 2 会員・社会に支持され続けるJAFを目指す

#### (1) 顧客・地域社会の「生の声」の傾聴と共創

- ・ 社会課題解決に向けた活動
- ・ 顧客との接点や地域社会とのパートナーシップの強化

#### (2) 会員サービスの満足度向上

- ・ 「お客様の声」や顧客満足度の調査によるサービス改善
- ・ 顧客満足につながるサービスの開発と提供
- ・ 会費収入以外の収益源の確保

#### (3) 適切なPRによる関係構築

- ・ 顧客にとって有益な情報の提供
- ・ 活動やサービスの広報とブランディング強化
- ・ 顧客との接点やメディアリレーションの強化

### 3 人的資本を活かす組織づくり

#### (1) チャレンジのできる組織風土づくり

- ・ 新たなビジネスアイデアを育む組織の実現
- ・ DE&I（多様性・公平性・包括性）の推進

#### (2) 組織運営を支える体制の整備

- ・ ロードサービス職の人材確保
- ・ 能力や得意分野を輝かせる人材育成および配置
- ・ 内部統制による各種リスクとBCPへの対応

- ・ 現行業務の見直しによる各種コスト削減
- ・ 健康経営の推進

### (3) デジタル・データの利活用

- ・ AI やデジタルツール活用による業務効率化
- ・ 適切で有効なデータ分析とデータ活用

以上